

授業科目	日本語教育演習Ⅰ【演習】	開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵・高田 恭子	単 位	2
授業の目的と概要	「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらいのかを知り、できるようになることを目指します。実践力は、初級と中級の模擬授業および教壇実習を通して身につけます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師としての実務をひと通り学び、主に、初級レベルと中級レベルの授業をひととおりこなせるようになる。 ・教案と授業で使用する教具を作成することができる。 ・教案では学習者の発話を引き出す、教師のふるまいができるようになる。 ・交換留学生との交流をとおり、日本語学習状況を観察、把握ができる。 		
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日 (3) -②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>日 (4) -①-① これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」</p> <p>ア (3) -②-1 アジアの諸言語を用いて適切な コミュニケーション (聞く・話す・読む・書く) を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>		
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等	
第1回	オリエンテーション：初級授業策定の復習	割り当てられた課の項目分析（文法学習、授業の構想）	
第2回	初級の学習目標（言語知識・言語行動）と教室活動	担当箇所の教案の作成	
第3回	初級模擬授業（1）：動詞のます形／やりもらい表現	項目分析・見学シート	
第4回	中級の教材分析	割り当てられた課の項目分析（文法学習、授業の構想）	
第5回	中級の学習目標（言語知識・言語行動）と教室活動	担当箇所の教案の作成	
第6回	中級教壇実習（1）：「わたしの町」導入・精読	項目分析・見学シート	
第7回	中級教壇実習（2）：「わたしの町」文型と語彙・発展活動	項目分析・見学シート	
第8回	中級教壇実習（3）：「この日に食べなきゃ意味がない！」導入・精読	項目分析・見学シート	
第9回	中級教壇実習（4）：「この日に食べなきゃ意味がない！」文型と語彙・発展活動	項目分析・見学シート	
第10回	初級模擬授業（2）：い・な形容詞／位置詞	項目分析・見学シート	
第11回	初級模擬授業（3）：て形＋ください／て形＋もいいですか	項目分析・見学シート	
第12回	初級模擬授業（4）：ない形＋ければなりません／辞書形＋ことができます	項目分析・見学シート	
第13回	初級模擬授業（5）：た形＋ことがあります	項目分析・見学シート	
第14回	交換留学生との会話パートナー	レポート：交換留学生の日本語学習状況の観察	
第15回	まとめ	ポートフォリオ整理（教案、教具、評価シート、省察シート、ふりかえり）	
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など		
定期試験	なし		
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。		
小テスト等	なし		
成果発表	50% 教案および模擬授業・教壇実習を評価します。		
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加		
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 ・授業見学シートには良い点、改善点をしっかり記入すること。 ・授業実践は計2回、初級模擬授業（学習者は本科目履修生）と中級教壇実習（学習者は交換留学生）とがあります。 ・事前チェックを希望する学生は、10日前までに筑女ネットにアップロードしてください。授業日直前のチェックは受け付けません。アドバイスがあった場合は、それを反映した内容で臨んでください。 		
教科書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊 第2版』（スリーエーネットワーク） 『中級を学ぼう 日本語の文型と表現56 中級前期 第2版』（スリーエーネットワーク）		
指定図書	なし		
参考図書	『初級を教える人のための文法ハンドブック』白川博之監修（スリーエーネットワーク） 『初級日本語文法と教え方のポイント』市川保子（スリーエーネットワーク） 『日本語文型辞典』グループウェア（くろしお出版）		
オフィスアワー	火曜 4 講時	メールアドレス	

授業科目	日本語教育演習Ⅱ【演習】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵・高田 恭子		単位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいかを知り、できるようになることを目指します。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。また、即戦力としての人材を育成するため、現場に即した授業の展開のしかたを念頭に、授業を進めます。実践力は、中級の教壇実習を通じて身につけます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師としての実務をひと通り学び、主に、中級・上級レベルの授業をひととおりこなせるようになる。 ・初級ですでに習得した文法や語彙と、新たに導入する中級・上級レベルのそれとがどのように異なるかを分析し、学習者に授業のなかで提示できる。 ・授業では、学習者の発話を引き出す教師のふるまいができるようになる。 ・交換留学生との交流を通し、日本語学習者を観察、把握ができるようになる。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日 (3) -②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 日 (4) -①-① これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題に向き合うことができる。「課題探究力」 ア (3) -②-1 アジアの諸言語を用いて適切な コミュニケーション (聞く・話す・読む・書く) を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容		授業外学修など	
第1回	イントロダクション		割り当てられた課の項目分析 (文法学習、授業の構想)、教案作成	
第2回	中級教壇実習 (1) 「音楽と音の効果」 導入・精読		項目分析・見学シート	
第3回	中級教壇実習 (2) 「音楽と音の効果」 文型と語彙・発展活動		項目分析・見学シート	
第4回	教壇実習 (1) ・ (2) のふりかえり、授業分析		授業担当者：省察シート、見学者：見学シート	
第5回	中級教壇実習 (3) 「いい数字・悪い数字」 導入・精読		項目分析・見学シート	
第6回	中級教壇実習 (4) 「いい数字・悪い数字」 文型と語彙・発展活動		項目分析・見学シート	
第7回	教壇実習 (3) ・ (4) のふりかえり、授業分析		授業担当者：省察シート、見学者：見学シート	
第8回	中級教壇実習 (5) 「「おもしろい」日本」 導入・精読		項目分析・見学シート	
第9回	中級教壇実習 (6) 「「おもしろい」日本」 文型と語彙・発展活動		項目分析・見学シート	
第10回	教壇実習 (5) ・ (6) のふりかえり、授業分析		授業担当者：省察シート、見学者：見学シート	
第11回	中級教壇実習 (7) 「くしゃみ」 導入・精読		項目分析・見学シート	
第12回	交換留学生との会話パートナー		レポート：交換留学生の日本語学習状況の観察	
第13回	中級教壇実習 (8) 「くしゃみ」 文型と語彙・発展活動		項目分析・見学シート	
第14回	教壇実習 (7) ・ (8) のふりかえり、授業分析		授業担当者：省察シート、見学者：見学シート	
第15回	まとめ		ポートフォリオ整理 (教案、教具、評価シート、省察シート、ふりかえり)	
成績評価	割合 (%)、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 教案および模擬授業を評価します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<p>欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 授業見学シートには良い点、改善点をしっかり記入すること。 授業実践は2回 (学習者は交換留学生) です。 事前チェックを希望する学生は、10日前までに筑女ネットにアップロードしてください。授業日直前のチェックは受け付けません。アドバイスがあった場合は、それを反映した内容で臨んでください。</p>			
教科書	『中級を学ぼう 日本語の文型と表現 5 6 中級前期 第2版』スリーエーネットワーク			
指定図書	なし			
参考図書	グループジャマシイ『日本語文型辞典』くろしお出版			
オフィスアワー	火曜 5 講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法A I【講義】		開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なか、どのように教えたらよいかを考えます。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。</p> <p>授業は、原則教科書に沿い、進めます。また、都度、まとめのレポートと小テストで段階的に知識を身につけていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教師としての技能を身につける最初の段階として、基礎的な知識を学び、日本語教育の全体像を理解する。 ・日本語の文法や音声を日本語学習者の視点から観察し、概要を体系的に説明することができる。 ・日本語を外国語としてみる視点を習得する。 ・日本国内における日本語を母語としない人々に対する日本語支援のあり方を理解する。 ・どのようにしたらことば（母語と第二言語）が習得できるかといった過去の研究を概観し、その知見を授業で効果的に活かすことができる。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日(3)-②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英(3)-②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。 ア(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 ア(3)-②-1 アジアの諸言語を用いて適切な コミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	言語としての日本語	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	日本語の音声（1）基本的な日本語の音声概観	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	日本語の音声（2）学習者に対する発音指導	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	「日本語学校の仕事」※ずれる可能性あり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	日本語の文法（1）日本語のレベルと文法の関係他	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	日本語の文法（2）日本語文法をどう学習者に提示するか	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	文字・表記	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	語彙	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	社会言語学（1）ことばの使い分けとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	社会言語学（2）文法外のコミュニケーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	心理学（1）学習（learning）とは？	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	心理学（2）心理学と日本語教育の関わり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	第二言語習得（1）第二言語を学ぶプロセスとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	まとめ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割 合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	20%			
レポート	40% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	20% 詳細は最初の授業で指示します。			
成果発表	なし			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『新・はじめての日本語教育1』高見澤孟他（アスク）			
指定図書	なし			
参考図書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』（スリーエーネットワーク） 『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』（スリーエーネットワーク）			
オフィスアワー	水曜 4講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法AⅡ【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいかを考えます。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点を置きます。</p> <p>授業は、原則教科書に沿い、進めます。小テストで段階的に復習をしながら、知識を整理していきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本語教師としての技能を身につける最初の段階として、基礎的な知識を学び、日本語教育の全体像を知ること。 主には各レベルの学習者にどのように授業を行うのかを知ること。 本授業は、学んだことを実際にやってみる「日本語教育演習Ⅰ・Ⅱ」への前段階としての位置づけがあります。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日(3)-②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英(3)-②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。 ア(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 ア(3)-②-1アジアの諸言語を用いて適切な コミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p>			
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	日本語教師の役割	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	日本語を教えるということ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	初級の教え方(1)発音	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	初級の教え方(2)会話	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	初級の教え方(3)文字	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	初級の教え方(4)読解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	中上級の教え方(1)会話	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	中上級の教え方(2)聴解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	中上級の教え方(3)読解	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	中上級の教え方(4)情報収集	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	中上級の教え方(5)その他のクラス指導	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	評価と試験	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	いろいろな外国語教授法	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	ふりかえり	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割 合 (%) 、 種 類 ・ 評 価 基 準 等			
定期試験	20% 詳細は最初の授業で指示します。			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
成果発表	なし			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『新・はじめての日本語教育2』高見澤孟他(アスク)			
指定図書	なし			
参考図書	『みんなの日本語 初級Ⅰ 本冊』(スリーエーネットワーク) 『みんなの日本語 初級Ⅱ 本冊』(スリーエーネットワーク)			
オフィスアワー	木曜 1講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法B I【講義】		開講時期	前期
担当教員	鷹野 恵		単 位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいかを知り、できるようになることを目指します。国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることには重点を置きます。</p> <p>授業は、原則、ワークショップ形式で行い、体験を通した学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<p>・日本語教師としての実務をひと通り学び、初級から上級までの学習者を対象とした授業ができるようになることを目標とします。</p>			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日(3)-②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英(3)-②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。 ア(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 ア(3)-②-1アジアの諸言語を用いて適切な コミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修 など		
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回	いろいろなシラバス	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回	第二言語の習得の様相	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回	初級の授業の全体像	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回	初級の授業 導入(1)学習者に気づきを与える導入とは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回	初級の授業 導入(2)導入のバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回	初級の授業 基本練習(1)流暢さと自動化を促すパターンプラクティスとは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回	初級の授業 基本練習(2)パターンプラクティスのバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回	初級の授業 応用練習(1)「自分のことば」で話すための活動とは	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回	初級の授業 応用練習(2)応用練習のバリエーション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回	初級の授業 応用練習(3)応用練習の留意点	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回	初級の教材分析(1)文型シラバスの教材	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回	初級の教材分析(2)文型シラバス以外の教材	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回	授業案検討	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回	まとめ	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割合(%)、種類・評価基準など			
定期試験	なし			
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。			
小テスト等	なし			
成果発表	50% 詳細は最初の授業で指示します。			
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。			
教科書	『みんなの日本語 初級I 本冊 ※第2版』(スリーエーネットワーク) ※第1版ではありません			
指定図書	適宜、提示します。			
参考図書	『初級を教える人のための文法ハンドブック』白川博之監修(スリーエーネットワーク) 『初級日本語文法と教え方のポイント』市川保子(スリーエーネットワーク)			
オフィスアワー	月曜 3講時	メールアドレス		

授業科目	日本語教育法BⅡ【講義】	開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵	単 位	2
授業の目的と概要	「外国語としての日本語」を教えるための実際的な技能を身につけることが目的です。効果的に日本語を教えるには、何が必要なのか、どのように教えたらよいのかを知り、できるようになることを目指します。授業は、国内・国外で日本語を教えるための土台を作ることに重点が置かれます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教育における中級レベルがどのようなものであるのかを理解する。 ・総合教科書『中級を学ぼう 中級前期』の分析を通し、この教科書を用いた授業を構成することができる。 ・他者に見せる教案を書くことができる。 ・初級の文型・語彙と比較しながら、項目分析ができる。 ・中級の学習者に文型・語彙を提示し、練習させることができる。 ・授業において、学習者の発話を引き出す教師のふるまいができる。 ・交換留学生との交流を通し、日本語学習者を観察、把握ができるようになる。 		
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日(3)-②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英(3)-②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。 ア(2)-①多様な価値観を尊重し、他者とつながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 ア(3)-②-1アジアの諸言語を用いて適切なコミュニケーション(聞く・話す・読む・書く)を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p>		
授業計画	授 業 内 容	授 業 外 学 修 等	
第1回	イントロダクション	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第2回	中級の授業の体験	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第3回	中級の授業の構成	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第4回	教材分析(1) 分析の観点の整理	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第5回	教材分析(2) 項目分析	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第6回	教材作成の方法・教師のふるまい(クラスコントロール)	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第7回	模擬授業(1)：第1課 音楽と音の効果	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第8回	模擬授業(2)：第2課 いい数字・悪い数字	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第9回	模擬授業(3)：第3課 「面白い」日本	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第10回	模擬授業(4) 第5課 私の町	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第11回	模擬授業(5) 第6課 この日に食べなきゃ、意味がない!	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第12回	模擬授業(6) 第7課 お相撲さんの世界	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第13回	模擬授業(7) 第8課 第一印象	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第14回	模擬授業の検討	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
第15回	まとめ「中級の授業策定とは」	①授業内容、②考えたことをまとめて提出する	
成績評価	割 合 (%) 、 種 類 ・ 評 価 基 準 等		
定期試験	なし		
レポート	30% 詳細は最初の授業で指示します。		
小テスト等	なし		
成果発表	50% 教案や教具について発表し評価します。		
受講態度他	20% 学習活動への積極的参加		
受講上の留意点・ルールに関わる情報	欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。		
教科書	『中級を学ぼう 中級前期 第2版』(スリーエーネットワーク)		
指定図書	なし		
参考図書	『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』白川博之監修(スリーエーネットワーク) 『中級日本語文法と教え方のポイント』市川保子(スリーエーネットワーク)		
オフィスアワー	月曜 5講時	メールアドレス	

授業科目	日本語教材研究【講義】		開講時期	後期
担当教員	鷹野 恵		単位	2
授業の目的と概要	<p>「外国語としての日本語」を教えるための基礎知識と技能を身につけることが目的です。教材・教具は教師が授業をするうえでもっとも重要な道具です。その道具を「見る目」を身につけることを目的とします。</p> <p>授業は、プリントによって進めます。また、調べ学習、グループ学習、体験等を通した学びを目指します。また、都度、まとめのレポートを書き、自己内省（ふりかえり）をすることで、整理をしていきます。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、現場で多く採用されている日本語の教科書を題材に分析を行い、各教材の特徴を理解することができる。 ・教材の特徴を理解したうえで、使用方法についていくつかの道筋を立てることができる。 			
この授業が目的としているDPや関連する科目など	<p>日 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者につながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 日 (3) -②-2 日本語の構造や特徴に対する理解に基づいて、適切なコミュニケーションを図ることができる。 英 (2) -①多様な価値観を尊重し、他者につながるための意思疎通ができる。「コミュニケーション・スキル」 英 (3) -②-1 英語を用いて適切なコミュニケーション（聞く・話す・読む・書く）を図ることができる。</p> <p><授業外学修>1回の授業につき180分必要です。詳しくは学生便覧参照。</p> <p>この科目は日本語教員の実務経験のある教員が担当しており、「授業の目的と概要」記載どおりの実践的教育を行います。</p>			
授業計画	授業内容	授業外学修など		
第1回 教具とは何か		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第2回 日本語教材選択の視点		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第3回 学習者を知る ―レディネス調査・ニーズ調査―		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第4回 教科書の構成		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第5回 教科書の種類（一般成人・留学生、ビジネスパーソン、技術研修生、年少者）		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第6回 教材分析（1）初級：構造シラバス		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第7回 教材分析（2）初級：構造シラバス以外		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第8回 教材分析（3）中級：一般成人・留学生対象		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第9回 教材分析（4）中級：一般成人・留学生対象以外		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第10回 教科書以外の教具―カード類、音声教材―		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第11回 教材使用法検討（1）初級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第12回 教材使用法検討（2）中級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第13回 教材使用法検討（3）上級の場合		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第14回 日本語教育の現状―留学生・技術研修生・年少者・海外―		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
第15回 まとめ		①授業内容、②考えたことをまとめて提出する		
成績評価	割合（％）、種類・評価基準など			
定期試験	30%			
レポート	20%（全2回）テーマは原則自由。①授業前半の内容から、②授業全体の内容から ※必ず、参考図書2冊以上を読み、引用しながら書くこと			
小テスト等	なし			
成果発表	30%（全2回）①教材分析、②教材作成			
受講態度他	20%			
受講上の留意点・ルールに関わる情報	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をしないようにし、積極的に授業に取り組んでください。 ・ペアまたはグループによる活動があります。相手とのコミュニケーションを積極的にとるよう心掛けてください。 			
教科書	深澤のぞみ・本田弘之（2019）『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版			
指定図書	なし			
参考図書	吉岡英幸（2008）『徹底ガイド 日本語教材』凡人社 国際交流基金（2008）『教材開発』ひつじ書房			
オフィスアワー	木曜4講：メールで連絡を事前にする	メールアドレス		